

五小 コミュニティ・スクールだより

令和5年7月20日

よさや可能性を伸ばし、子どもが活躍できる学校に！

第1回学校運営協議会開催(6月23日) 会長に栗田さん、副会長に須永さん

「地域の力を学校教育に」を合言葉に、本校がコミュニティ・スクールとなってから3年目となりました。6月23日(金)に開かれた第1回学校運営協議会では、会長に栗田さん、副会長に須永さんが選ばれました。続いて校長より次の学校経営方針が示され、参加した委員全員により承認されました。

○子どものよさや可能性を伸ばし、子どもが活躍できる学校づくりにつとめる。

○ICTの活用や話し合い活動を通して、自分の思いや考えをもち、表現できる児童を育てる。

○いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決に向けた教育活動を徹底する。

○基礎学力の向上を目指して授業を改善し、はなまるタイム(補充学習)や家庭学習の充実にも積極的に取り組み、学習内容の確実な定着を図る。

また、学校運営協議会の委員の皆様からは、次のような意見が出されました。

- ・先生方にも楽しいと思える学校を目指してほしい。
- ・米作りの大切さを伝える田植えなどの体験活動を今後も継続していけるようにしてほしい。
- ・田植えの際の児童の顔を見ると笑顔が見られるので、自己有用感が育っていると感じる。
- ・各地区で、定期的に防犯パトロールなどを実施しており、地域が学校を支えていることをもっと保護者に発信してほしい。

五小 学校運営協議会委員		
氏名	所属等	備考
栗田 裕	区長協議会会長	再
稲葉 貞二	体協赤羽支部事務局長	新
須永 文男	安協赤羽支部長	再
青木 久美子	主任児童委員	再
斎藤 のぶ江	五小読み聞かせの会代表	新
齊藤 千賀子	五小地区子育て連副会長	新
小堀 裕靖	第五小学校PTA会長	再
栗原 幸枝	赤羽公民館長	再
木村 淳史	第四中学校長	新
鎌田 尚之	ルンビニ保育園長	再
高柳 悦夫	第五小学校CSディレクター	再
佐藤 和弘	第五小学校長	再
学校職員		
菱沼 健	第五小教頭	新
檀原 郁夫	教務主任	再
川口 舞	地域連携担当	新



「体験活動を充実させます」校長による学校運営方針

子どもたちの体験活動を深めるには

会議の後半で行われた熟議（より深い話し合い）では、子どもたちの体験活動を深める方法について、3つのグループに分かれて話し合いが行われました。

話し合いでは次のような意見が出されました。

- ・体験したことを発表する場を設ける。
- ・より詳しい話を専門家から聞く。
- ・公民館の活動につなげる。
- ・交通安全教室を充実させる。
- ・群馬県自転車技能大会に参加する。
- ・交通安全について地域の人と話し合う場を作る。
- ・児童会活動と連携させる。
- ・総合的な学習と結びつける。
- ・クラブ活動と結びつける。
- ・他学年での学習と結びつける。
- ・子ども科学館の活動とつなげる。



「公民館活動とのつながりを深める」熟議結果の発表



6月21日（水）5年生が田植え体験

地元の農家中里さんの指導で5年生が田植を体験しました。

<子どもたちの感想>

- ・苗を一行にそろえて植えるのが難しい。
- ・足の裏がねちょねちょしていた。
- ・田んぼに入ったら思ったより沈んだ。
- ・自分のふんだところが穴になっていておどろいた。
- ・農家の方がやさしく指導してほめてくれた。
- ・お米を作るのはとても手間がかかることが分かった。
- ・自分たちで育てたお米を食べるのが楽しみだ。



会議に先立ち、委員により2時間目に全学級の授業参観が行われました。タブレットパソコンを使った授業や英語の授業、図工や体育の授業などを参観しました。